

## ○參照第九

秋田岩手兩縣下震災地ノ被害建物ニシテ往々修繕ノ方法其宜シキヲ得サルモノアリ今ヤ方ニ降雪ノ季節ニ向フ若シ之ヲ其儘ニ放置セハ或ハ積雪ノ爲ニ壞倒センモ測ラレス否ラサルモ稍々大ナル餘震ニ際シ危險ノ虞ナキニアラサルヘシ因テ目下焦眉ノ急ニ充ツル爲メ假修繕ニ就テ注意ヲ與フルコト左ノ如シ

### 震害家屋ノ修繕ニ就テノ注意

一 傾斜シタル家屋ハ之ヲ垂直ニ起シ尙ホ傾斜ノ虞アルモノハ支柱ヲ添ユルヲ

一 屋根ハ成ルヘク輕量ニスルヲ

一 柱梁ノ摧折シタルモノハ勿論繼手、仕口ノ毀損セルモノモ必ス添木若クハ添鐵ヲ附シボルトヲ以テ之ヲ締結スルヲ

但ボルトヲ得難キ場合ニハ鋸又ハ木螺旋ヲ以テ適宜ニ之ニ代フルコトヲ得

一 建物ノ何タルヲ問ハス成ルヘク筋違木ヲ附シテ骨組ヲ固ムルヲ

一 煉瓦造ノ烟突傾斜シ若クハ罅裂ヲ生シタルモノハ之ヲ

堅固ニ積直スヲ

筋違木ノ添ヘ方ボルトノ入レ方等其他詳細ハ總テ要領書(本會報告第六號)參看ノヲ